

## 東北地連女性協議会 定期大会・女性のつどい 女性の働き方・生き方

11月25日土曜日、平野部でも雪の積もり始めた盛岡を会場に第四八回東北地連女性協議会定期大会並びに第一〇回東北版女性のつどいを開催した。今回は入社

一年目の若手から結婚・育児経験も豊富なママさん社員まで幅広い年代の女性たちが集まり、日頃社内で感じている女性ならではの課題点や問題点を報告しあった。

今回は働き方改革についての意見が多く出された。複数の局で「残業デー」などを実施しているものの、実態は他の日に残業が増え

### 中四国地連女性協議会 定期大会 働く環境の改善へ

12月2日(土)、広島テレビ本館9階にて、中四国地連女性協議会定期大会を開きました。2016年度役員



新年度の活動にパワーを

引継ぎをしてきました。中四国地連役員は任期・財政との足並みを揃えるため、2017年度の役員任期は2018年8月末までとし、引継ぎは同年9月に行う方針に決定(財政方針は、2017

めつつ、その傍らで「陸前高田普語りの会」の会長として地域のお



顔を合せて多くの情報交換

市の歴史を話してもらった活動にも励んでいる。取材をする側・される側、両方の立場を経験している阿部さんの話は、放送局に勤める我々にとっ

て、今後の取材のあり方や視聴者・聴取者とのかわり方を考える大きな参考になった。

東北地連女性協のメンバーは一年に一度しか集まることではないが、それぞれの環境で今こんなことが起きているのか、女性が働

各単組報告では、「突然の人事異動」が議論に。H TVでは、衆院選直前の急な異動通達。HOMEでは、時短希望の育休中の女性社員が、従来所属の報道部から時短を取得しやすい部署に異動して6月に復帰した

にも関わらず、わずか半年で再び報道部へ異動。いずれも当人に説明のないまま進められたことに疑問の声が上がりました。

また、近年若手社員が退職していく事例も増え、働き方改革、魅力ある職場環境作りについて、会社全体で考えていく必要があると

の声もあがりました。HF Mでは、3歳まで認められている時短勤務の延長を春に会社に要求。その後、延

## 九州地連女性協議会 定期大会 若さが強味、来年へ

### 若さが強味、来年へ

「こういう場に、初めて参加しました」という新入社員や20代の若手社員の姿が目立ち、「世代交代」という言葉がふと去来した九州地連女性協・第四四回定期大会。11月18日(土)福岡市のアクロス福岡に、九州各地から二三単組一八人が集まり、さくくばらんな

霧気の中、様々な問題や課題が議論された。女性の日

常に無理を重ねながら業務に携わっている現状が、切々と訴えられていまし

はまかせて！ 法律で定められている当然の権利にも関わらず、ほとんどの女性が取得経験のない生理休暇は、「母性を守りつつ仕

来年の「女性のつどい」は、

長は認められたものの、諸規定集に記載はせず、その都度当人と会社の相談ということになりました。

会社の中で言えない悩み

事を続けていくための象徴として、真剣に取り組んでいくべき問題という認識で一致しました。

今年「働き方元年」とも言われ、政府も「同一労働同一賃金」などを掲げていますが、各単組からは、新職制の導入により総合職と専門職社員の間で生じている待遇格差の問題や、異

動を伴わない「地域限定職」の賃金を抑えることで、総人件費を抑制しようとする人事制度導入の動きなど、深刻な現状も報告されました。

九州地連女性協の新役員は、一〇人中約半数が20代と二気に若返りました。来年6月には、「全国女性のつどい」が、熊本で開催さ

入ります。

れます。全国の民放で働く女性たちと交流を重ねることで、若い女性組合員たちが、少しでも一人のため

に皆で問題を共有し闘うことの意義を感じてくれればーと願いつつ、全国の皆さんに喜んでいただける「つどい」の実施に向けて、

年明けから本格的な準備に入ります。